

令和 7 年度 医学部新卒者を対象とした教育要求分析

—学部教育・カリキュラムの評価と要望の傾向—

令和 8 年 5 月

【調査の意義・目的】

・本学における医学教育の改善を目的として、医学部卒業が確定した 6 年生を対象とし、これまでの教育プログラムに関するアンケート調査を実施する。この調査は、今後のカリキュラム見直しに役立てる資料とするものである。

【調査方法】

・令和 8 年 3 月卒業式前に、学習支援システム Universal Passport において、調査の趣旨説明と協力を依頼する案内文を掲示した。同案内文よりアンケートフォームにアクセスしてもらい、記名式で調査を実施した。

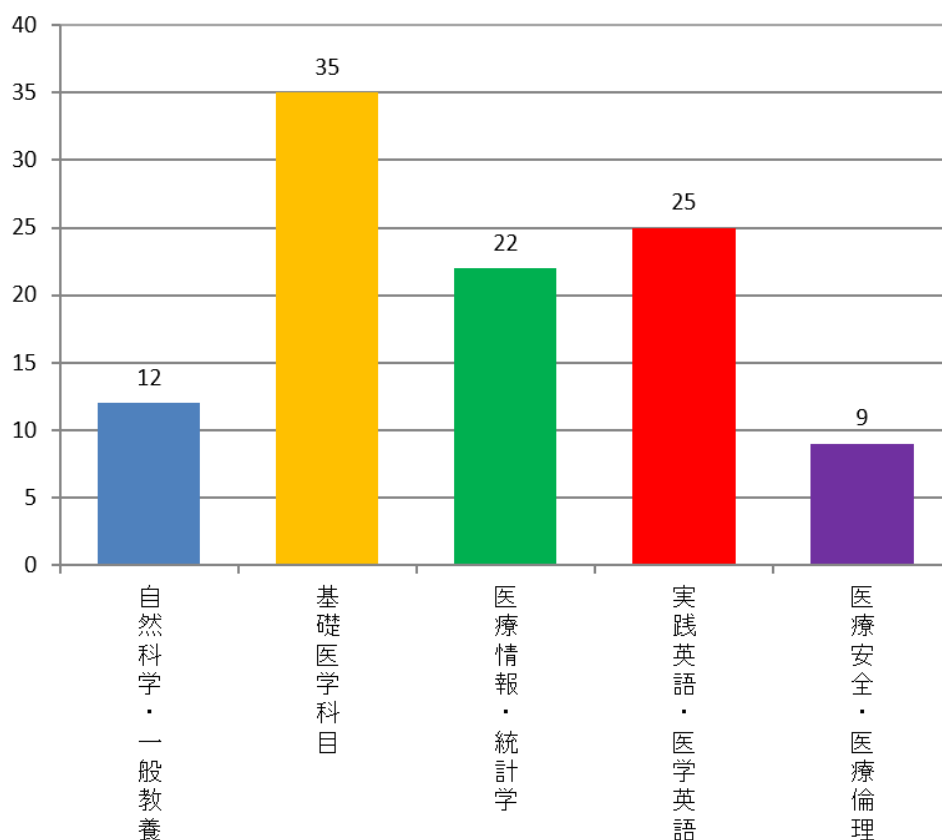
【調査の集計と結果】

・調査対象とした本学医学部新卒者 101 名のうち 67 名(重複回答を含む 72 件)より回答を得た。

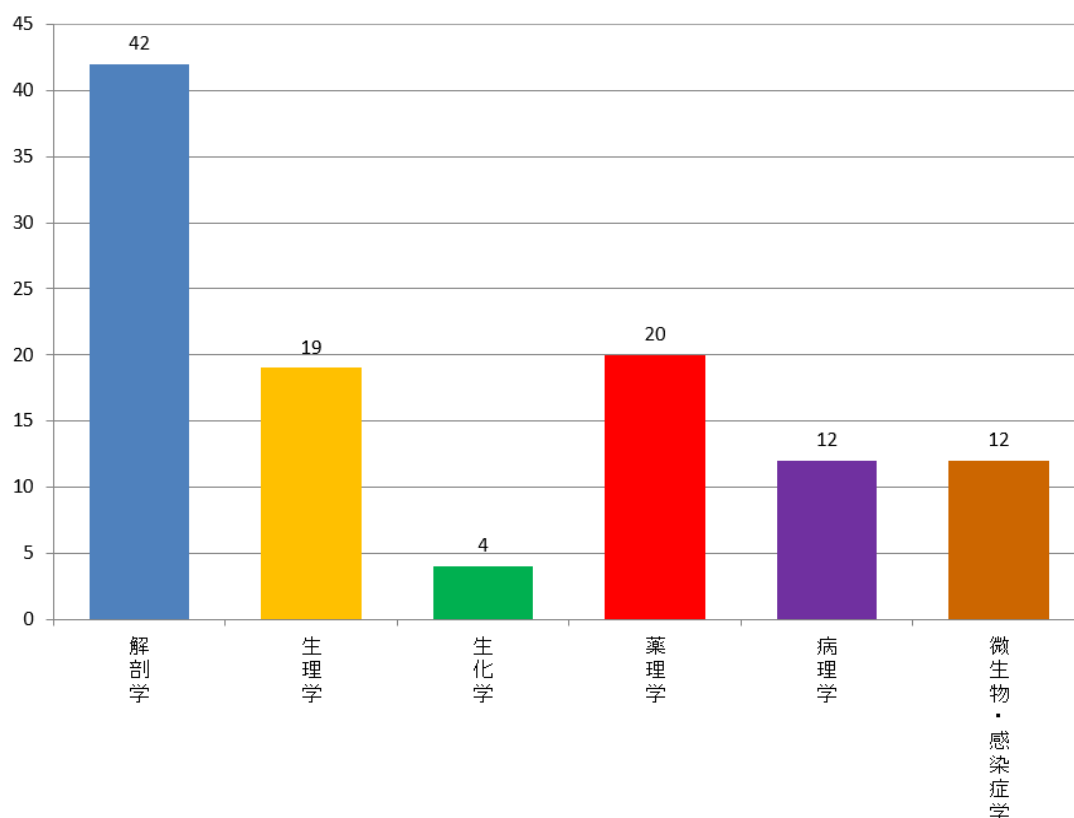
学部教育における不足事項

・「在学中にもっと学んでおけばよかった」と思う項目を複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。

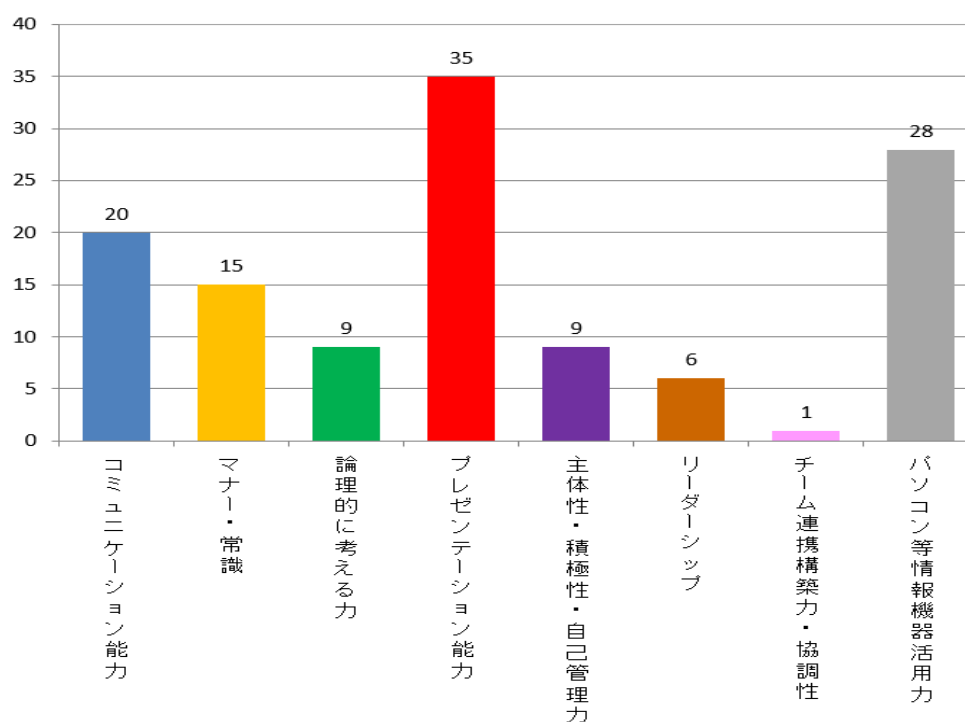
昨年度実施した調査と比較して、基礎医学科目の項目を選択する学生の割合が増加した。



「臨床実習を終えた現在から振り返って、もっと学んでおけばよかったと思う科目」を複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。多くの学生が解剖学を選択し、次いで薬理学、生理学の順となった。

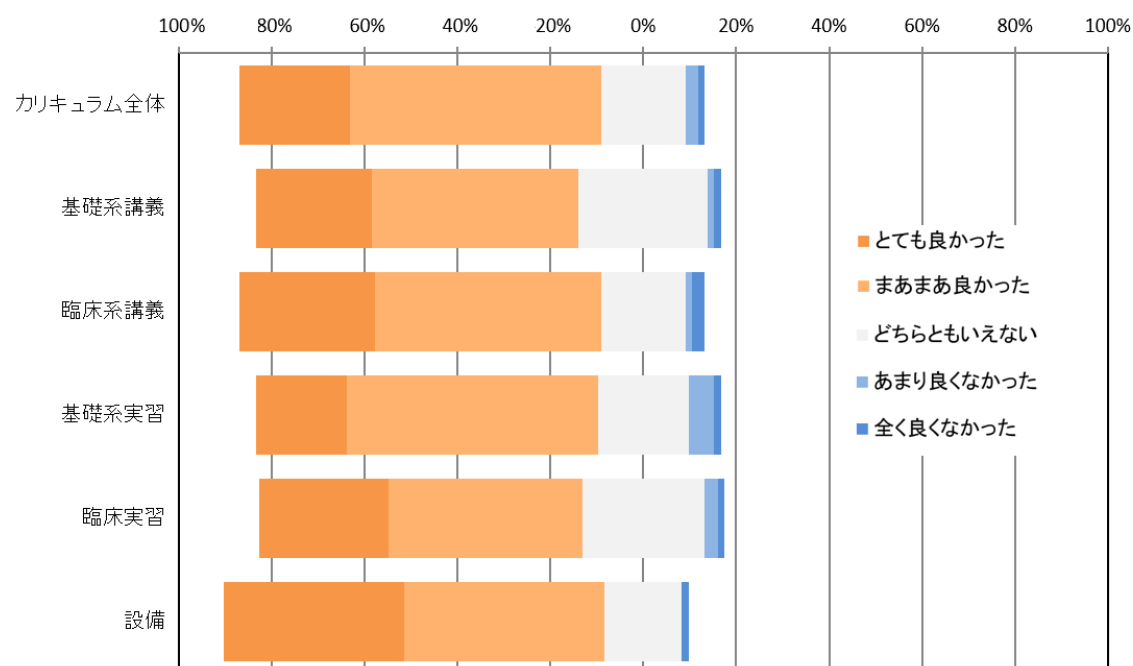


「これまでの学部教育や活動を通してもっと身につけておきたかった」と思う項目を複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。プレゼンテーション能力や情報機器活用力の回答数が多い。コロナ禍において情報科学の演習等をオンラインで実施した影響が大きいものと考えられる。



学部教育に対する評価

・杏林大学における医学教育に関する 5 段階評価の結果は下図の通りであった。
各項目とも高評価となった。カリキュラム改善や講義棟 A 新設の影響が考えられる。



・「学部教育について、特に習得し成長できたと実感する」と思う項目択一で選択する設問に対する回答結果は下図の通りとなった。医学知識と技能を選択する学生の割合が例年通り高い。

